

## 《 復習資料 》

超音波からのメッセージ第57話に寄せられた質問、講師からのコメントと感想をまとめました。復習に役立てていただければ幸いです。著作権のある資料ですので印刷はできません。画面でご覧ください。

### 第57話 依頼に応える心エコー〈応用編〉

2023年3月16日 19:00 から 20:30

東京文具共和会館 4 階B 室

#### 主催者シーズン2より皆様へ

アンケートでのたくさんのご感想とご意見をいただきありがとうございました。

超音波からのメッセージ第57話は「依頼に応える心エコー《応用編》」を野間充先生にお話しいただきました。野間先生のお話は、検査技師が何に自信が持てずに困っているかをよくご理解いただいた上での内容でした。聴講された皆さんの満足度は高かったです。

たくさんのご感想が寄せられました。聴講した方の感想では、先生のお話の中で皆さんが何に関心を持たれたかが分かります。講師にもこのアンケートはお送りして、また次のご講演に活用していただいております。皆さんもぜひ「受講者の感想」のページをご覧ください。きっと共感することも多いと思います。

次回5月14日が今から楽しみです。

フリートーク「30分で検査談義」は、検査にフォーカスした企画で反響が大きかったです。「拡張能評価」はその意義をよく分からずに計測しているのかも知れません。検査技師のパネラーと講師の野間先生にも加わっていただき、30分の限られた時間ではありましたが、深掘りした話が聴けたのでは無いでしょうか。次回もどうぞ楽しみに。

NPO シーズン2代表 鶴岡 尚志

#### ◆研修会はもとのペースに戻していきます◆開催のお知らせを受け取ってください◆

シーズン2の研修会などの開催情報は、メール、LINE、Facebook ページでお届けしています。LINE と Facebook ページでは開催告知だけでなく、超音波検査に関する他の話題も取り混ぜてお知らせしていますのでどうぞ登録をお願いします。

#### Facebook ページ

超音波検査が上達したい



ページに  
いいね  
してください

<https://www.facebook.com/stepup.us>

#### LINE

シーズン2LINE



友だち登録  
お願いします

<https://lin.ee/RV2WrSD>

参加した方の印象に残ったことやご意見を、「受講者ひろば」に掲載しています。

他の方の印象に残ったことは、講義の振り返りになりますので、ぜひご一読ください。

★受講者ひろばの URL

<http://study.usseason2.com/list1037001.htm>

## 8. 今回の講義内容での質問

沢山の質問をありがとうございました。野間先生にひとつひとつコメントをいただきました。

●が質問、▲がコメントです。

- 時相を見て判断するのが苦手です。なにかコツがあれば教えていただきたいです。
  - ▲ 私は心電図で判断しています。  
R波のピークを拡張末期、T波の終わりを収縮末期として認識します。  
R波のピークからT波の終わりまでが収縮期、T波の終わりから次のR波のピークまでを拡張期としてエコーイメージが、どの時相かを判断しています。
- 数値を見る様にとのアドバイスがありましたが、計測値を以前との比較はしていますが、その数値の意味を理解したり考えたり考察したりをする事はしてきませんでした。わかりやすい本などありましたら教えて下さい。
  - ▲ 計測した数字の確認をして記憶する事がまず大事です。次に大きいのか？小さいのか？正常範囲なのか？を評価するといいでしょう。必要な数値については拙書を参考してみてください。
- バルサルバ負荷のコツを教えてください。
  - ▲ 鼻で大きく息を吸って息どめしてもらおうと思います。
- AMIを疑う場合は、壁運動異常のある対側側が過収縮をするとの事でしたが、OMIの場合に、何か疑ってみるポイントはありますか？基本的には心電図を参考にして検査をするのですが、心電図記録がない事もあり、びまん性に低下しているのか、複数の冠動脈病変なのか、考えてしまう事があります。
  - ▲ AMIの時は短時間で評価する必要があるので上記の方法がいいと考えています。OMIでは、エコー輝度が高い所を参考にします。新たな病変の有無は以前の記録と比較するしかないでしょう。
- 心尖部瘤を形成しやすい、左室内の加速血流シグナルは「拡張期に、心尖部側から心基部側へ向かう2相性の連続ドプラ波形」でよろしかったでしょうか？その連続波ドプラ波形は、peak flowで何メートルほどあれば、気を付けた方がよろしいでしょうか？
  - ▲ ご記載のとおり、心室中部閉塞に心尖部瘤を伴う例では拡張期に心尖部から心基部に向かう血流が認められると報告されています。この拡張期の血流がある事が重要です。流速が速いことで瘤拡大につながる可能性があるかもしれませんが明らかでは無いと認識しています。ただ、1m/s以上なら気をつけた方がいいと考えています。
- ガイドラインは日本心エコー学会のものと日本循環器学会のガイドラインどちらで評価していくのが正しいでしょうか？
  - ▲ どちらも大事です。急な変更は混乱を生じるので、最新のガイドラインが出たら以前の基準との比較をしての評価がいいと思います。

次回は5月14日（日）に開催【聴講受付中】  
症例から学ぶ 心音図・心電図で読み解く心エコー  
中島 哲 先生のご講演です  
案内URL <https://season2-2023-0514.peatix.com/>